第2学年	算数科
単元名	かけ算（2）
単元の目標	乗法の意味について理解を深め、計算の仕方を考えたり乗法に関して成り立つ性質やきまりを見いだしたりする力を養うとともに、計算方法などを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
着眼点	「1つ分の数」をとらえてそれをひとまとまりとみて、その「いくつ分」ととらえる。

小単元	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	☆12	13・14
学習形態	一斉	一斉	一斉	一斉	一斉	一斉	一斉	一斉	一斉	一斉	一斉	一斉	一斉
めあて	6の段の九九の構成の仕方を理解する。	6の段の九九を確実に唱え、適用することができる。	7の段の九九の構成の仕方を理解する。	7の段の九九を確実に唱え、適用することができる。	8の段の九九の構成の仕方を理解する。	8の段の九九を確実に唱え、適用することができる。	9の段の九九の構成の仕方を考え、説明することができる。 9の段の九九を確実に唱え、適用することができる。	1の段の九九を構成し、乗法の意味の理解を確実にする。 九九を答えの大きい方から唱えたり、途中から唱えたり、交互に唱えたりする活動を通して、九九の習熟・定着を図る。	九九表からきまりを見つける活動を通して、乗法と積の関係や、乗法の交換法則についての理解を深める。	乗法の性質やきまりを用いて、簡単な場合の2位数と1位数の乗法の答えの求め方を考え、説明することができる。	同じ倍でも基準量が異なると比較量も異なることを、図や基準量の4倍の長さを求めながら考え、「倍」についての理解を深める。	乗法の意味について理解を深め、計算の仕方を考えたり乗法に関して成り立つ性質やきまりを見いだしたりする力を養うとともに、計算方法などを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。
本時の流れ	・これまでに行ってきた九九を構成する学習を振り返り、つくる。 ・乗法の意味を基に、同数累加や既習である乗法について成り立つ性質を活用して、6の段の九九の構成の仕方を考える。	・6の段の九九を見直し、九九表やアレイ図などを基にして、交換法則や分配法則を確かめさせる。 ・見直したことを生かして、6の段の九九を覚える。 ・練習問題に取り組む。 ★九九検定に取り組む。 →九九をすらすら唱える。九九の答えの大きい方から言う。九九をばらばらに言う。	・これまでに行ってきた九九を構成する学習を振り返り、つくる。 ・乗法の意味を基に、同数累加や既習である乗法について成り立つ性質を活用して、7の段の九九の構成の仕方を考える。	・7の段の九九を見直し、九九表やアレイ図などを基にして、交換法則や分配法則を確かめさせる。 ・見直したことを生かして、7の段の九九を覚える。 ・練習問題に取り組む。 ★九九検定に取り組む。 →九九をすらすら唱える。九九の答えの大きい方から言う。九九をばらばらに言う。	・これまでに行ってきた九九を構成する学習を振り返り、つくる。 ・乗法の意味を基に、同数累加や既習である乗法について成り立つ性質を活用して、8の段の九九の構成の仕方を考える。	・8の段の九九を見直し、九九表やアレイ図などを基にして、交換法則や分配法則を確かめさせる。 ・8の段は6の段＋2の段でも作ることができることをおさえる。 ・見直したことを生かして、8の段の九九を覚える。 ・練習問題に取り組む。 ★九九検定に取り組む。 →九九をすらすら唱える。九九の答えの大きい方から言う。九九をばらばらに言う。	・これまでに行ってきた九九を構成する学習を振り返り、つくる。 ・乗法の意味を基に、同数累加や既習である乗法について成り立つ性質を活用して、9の段の九九の構成の仕方を考える。 ・9の段の九九を見直し、九九表やアレイ図などを基にして、交換法則や分配法則を確かめさせる。 ・9の段は6の段＋3の段でも作ることができることをおさえる。 ・見直したことを生かして、9の段の九九を覚える。 ・練習問題に取り組む。 ★九九検定に取り組む。 →九九をすらすら唱える。九九の答えの大きい方から言う。九九をばらばらに言う。	・ケーキは1個の6つ分であることをアレイ図で確認させ、これまでと同様に乗法の式で表せることをおさえる。 ・1の段の九九をつくり、九九表に答えを書く。 ・1の段の九九にもこれまでに見つけたきまりがあるか確かめ、まとめる。 ・1の段の九九を覚える。 ★九九検定に取り組む。 →九九をすらすら唱える。九九の答えの大きい方から言う。九九をばらばらに言う。	・九九表を見ながら、これまでに見つけた九九のきまりをふりかえる。 ・「乗数が1増えると、積は被乗数分だけ増える」という乗法の性質の理解を深めるようにする。 ・かけられる数とかける数を入れ替えて計算しても、答えは同じになることを確認する。 ・乗数が1増えると積が被乗数分増えることを、式に表させる。 ・他の段の計算についても、式に書かせて確認する。	・九九表を広げて考えていくことをとらえさせる。 ・かけ算のきまりを使えば、答えが求められそうだという見通しをもたせる。	・教科書P.11で学習した内容を振り返る。 ・4倍の数に線を引く。 ・4倍の長さがそれぞれ異なる理由について、話し合い、説明する。 ・練習問題に取り組む。	・チョコレートの数の求め方を考える。 ①分けて考える②動かして考える③全体からひいて考える ・図の中に書き込んだり、式で表して書いたり、言葉で説明したりする。 ・自分の考えと他者の考えを比較し、共通点や相違点を説明する。 ・同じ数のまとまりに着目すれば、乗法を用いて解決できることをまとめる。	・教科書のたしかめよう問題に取り組む。
学習のふりかえり	学習のふりかえり（まとめ）	学習のふりかえり（まとめ）	学習のふりかえり（まとめ）	学習のふりかえり（まとめ）	学習のふりかえり（まとめ）	学習のふりかえり（まとめ）	学習のふりかえり（まとめ）	学習のふりかえり（まとめ）	学習のふりかえり（まとめ）	学習のふりかえり（まとめ）	学習のふりかえり（まとめ）	学習のふりかえり（まとめ）	単元のふりかえり（まとめ）
手立て・支援のポイント	・アレイ図で1列増えると●が6個増えることを確認させる。 ・これまでに見つけたいろいろなきまりを使って、6の段の九九の構成をしたことを価値づけ、まとめる。	・九九カードを用いて、唱えながら覚える。 ・九九検定に取り組み、習熟を確認する。	・アレイ図や九九表を使って考える。 ・これまでに見つけたいろいろなきまりを使って、7の段の九九の構成をしたことを価値づけ、まとめる。	・九九カードを用いて、唱えながら覚える。 ・九九検定に取り組み、繰り返し唱えて覚える。	・アレイ図や九九表を使って考える。 ・既習の乗法に関する性質やきまりを用いて、九九をつくらせる。	・これまでに見つけたいろいろなきまりを使って、8の段の九九の構成をしたことを価値づけ、まとめる。 ・九九カードを用いて、唱えながら覚える。 ・九九検定に取り組み、習熟を確認する。	・これまでに行ってきた九九を構成する学習を振り返り、つくる。 ・乗法の意味を基に、同数累加や既習である乗法について成り立つ性質を活用して、9の段の九九の構成の仕方を考える。	・既習の乗法の性質やきまりが、1の段の九九でも同じように使えることを確認してまとめさせ、一般化につなげる。 ・被乗数が1の乗法もあることに気付かせる。	・乗法の分配法則と交換法則について、既習のきまりを思い出しながら理解させる。 ・他の段の計算についても、式に書かせて確認する。	・かけ算のきまりを意識して考える。	・1つ分の長さが違うことに着目させる。 ・「○の△倍の大きさ」を求めるときには、○×△という乗法の式を用いることも、改めておさえる。	・「分ける」「動かす」「ひく」の方法に着目させ、それぞれのパターンでのやり方を考える。 ・「1つ分の数」「いくつ分」「ぜんぶの数」を意識して、自分の考えを発表できるようにする。 ・自分の考えを、図に書き込み、式や言葉で説明できるようにする。	・「1つ分」「いくつ分」について再度確認する。
評価・見取りの場面	乗法について成り立つ性質やきまりを用いて九九を構成しようとしている。（観察・ノート）	・6の段の九九を見直すことを通して、乗法について成り立つ性質やきまりを考え、説明している。（観察・ノート） ・6の段の九九を確実に唱えることができ、それを用いて問題を解決することができる。（観察・ノート） ・九九を確実に唱えることができる。（観察）	乗法について成り立つ性質やきまりを用いて九九を構成しようとしている。（観察・ノート）	・7の段の九九を見直すことを通して、乗法について成り立つ性質やきまりを考え、説明している。（観察・ノート） ・7の段の九九を確実に唱えることができ、それを用いて問題を解決することができる。（観察・ノート） ・九九を確実に唱えることができる。（観察）	乗法について成り立つ性質やきまりを用いて九九を構成しようとしている。（観察・ノート）	・8の段の九九を見直すことを通して、乗法について成り立つ性質やきまりを考え、説明している。（観察・ノート） ・8の段の九九を確実に唱えることができ、それを用いて問題を解決することができる。（観察・ノート） ・九九を確実に唱えることができる。（観察）	乗法について成り立つ性質やきまりを用いて九九を構成しようとしている。（観察・ノート） ・9の段の九九を確実に唱えることができ、それを用いて問題を解決することができる。（観察・ノート） ・九九を確実に唱えることができる。（観察）	・1の段の九九を構成することに通して、乗法の意味を理解している。（観察・ノート） ・九九を確実に唱えることができる。（観察）	・各段の九九を構成するときに用いた乗数と積の関係や、乗法の交換法則を、乗法の性質やきまりとしてまとめようとしている。（観察・ノート）	・乗数と積の考えや乗法の交換法則を用いて、簡単な場合の2位数と1位数の乗法の答えの求め方を考え、説明している。（観察・ノート）	・図やそれぞれの4倍の長さに着目して、4倍の長さが異なる理由を考え、説明している。（観察・ノート） ・同じ倍でも、基準量が異なると比較量も異なることを理解している。（観察・ノート）	・主体的、対話的に学習に取り組むとともに、乗法九九を総合的に活用して問題解決したことを振り返り、価値づけている。（ノート・観察）	・基本的な問題解決をすることができる。（観察・ノート）